

**2021年3月期
決算補足説明資料
(連結)**

2021年5月11日

株式会社テセック

High light

2 1 年 3 月 期 は 2 期 連 続 の 営 業 赤 字

- ・ 売上は前期比17%減、在庫評価損4億円を計上
- ・ 受注は下期に入り急回復に転じ、前期比3割増

2 2 年 3 月 期 は 大 幅 な 増 収 増 益 を 予 想

- ・ 事業環境の継続を前提に売上倍増を見込む
- ・ 納期対応、生産能力確保、新製品投入に注力

売上低迷、在庫評価損により2期連続の営業赤字

- ・本体売上はハンドラ、テストとも減少。パーツ等はハンドラ関係が増加。
- ・長期滞留在庫について評価損を計上(急回復に伴い一部は下期に売上)。

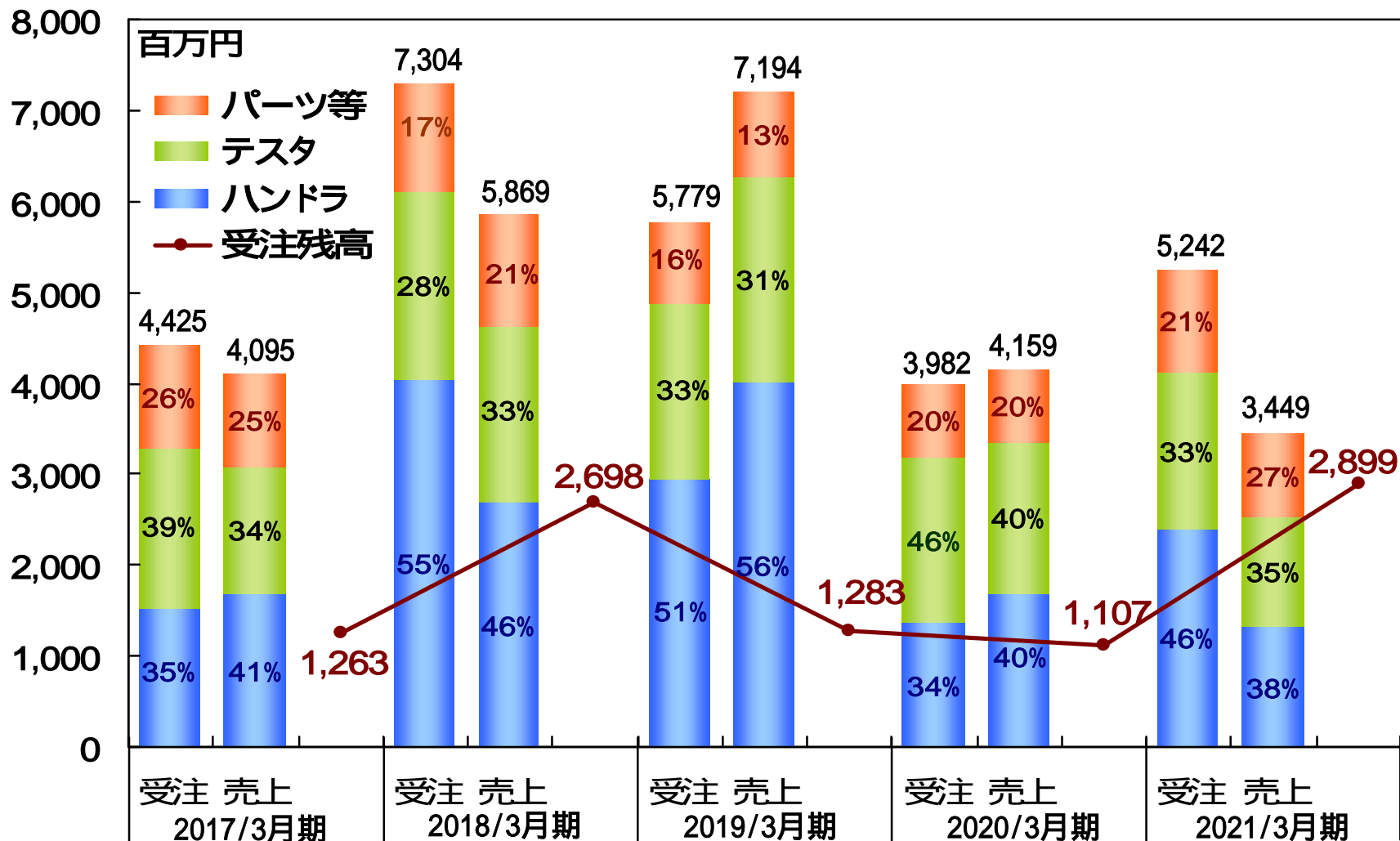
	2020年3月期 前期		2021年3月期 当期		対前期 増減	
		百分比		百分比	増減額	増減率
売上高	4,159	100.0%	3,449	100.0%	-709	-17.1%
ハンドラ	1,677	40.3%	1,317	38.2%	-360	-21.5%
テスト	1,663	40.0%	1,220	35.4%	-443	-26.6%
パーツ等	817	19.7%	912	26.4%	+94	+11.6%
売上原価	2,801	67.3%	2,607	75.6%	-193	-6.9%
売上総利益	1,358	32.7%	842	24.4%	-516	-38.0%
販管費	1,444	34.8%	1,290	37.4%	-154	-10.7%
研究開発費	290	7.0%	234	6.8%	-56	-19.3%
営業利益	-86	-2.1%	-448	-13.0%	-361	-
経常利益	38	0.9%	-308	-8.9%	-347	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-168	-4.0%	-290	-8.4%	-122	-

営業利益の 増減要因 (前期比)	
減収効果	▲232
たな卸資産評価損	▲403
固定費削減他	+274
計	▲361

為替レート	107.70 円/USD	104.35 円/USD
-------	--------------	--------------

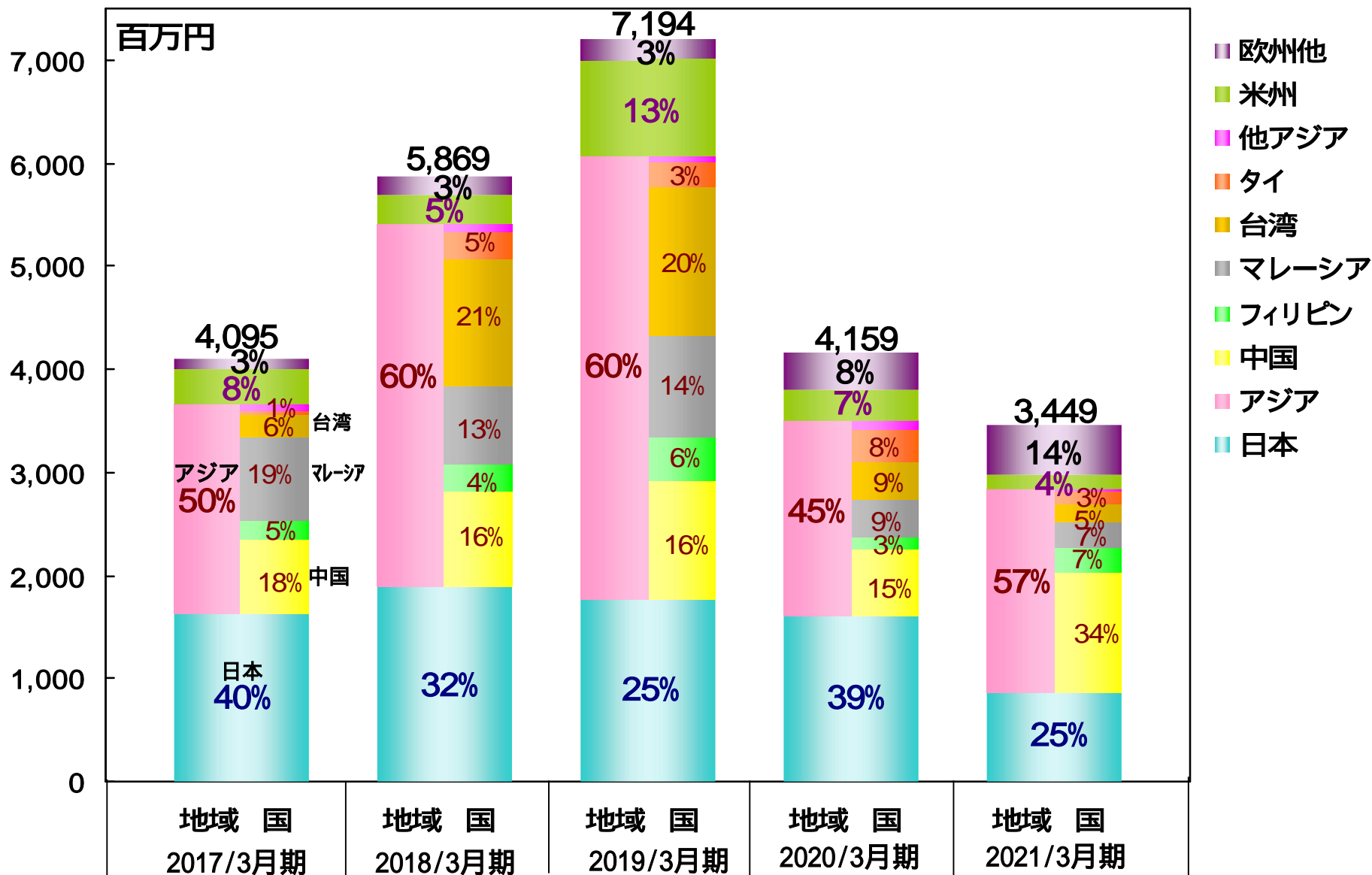
下期の急回復で受注は3割増となり、受注残が増加

- ・ テスタは国内市場および中国市場で堅調に推移し、概ね前期水準。
- ・ ハンドラは主要海外半導体メーカーからの受注が回復し、7割増に。



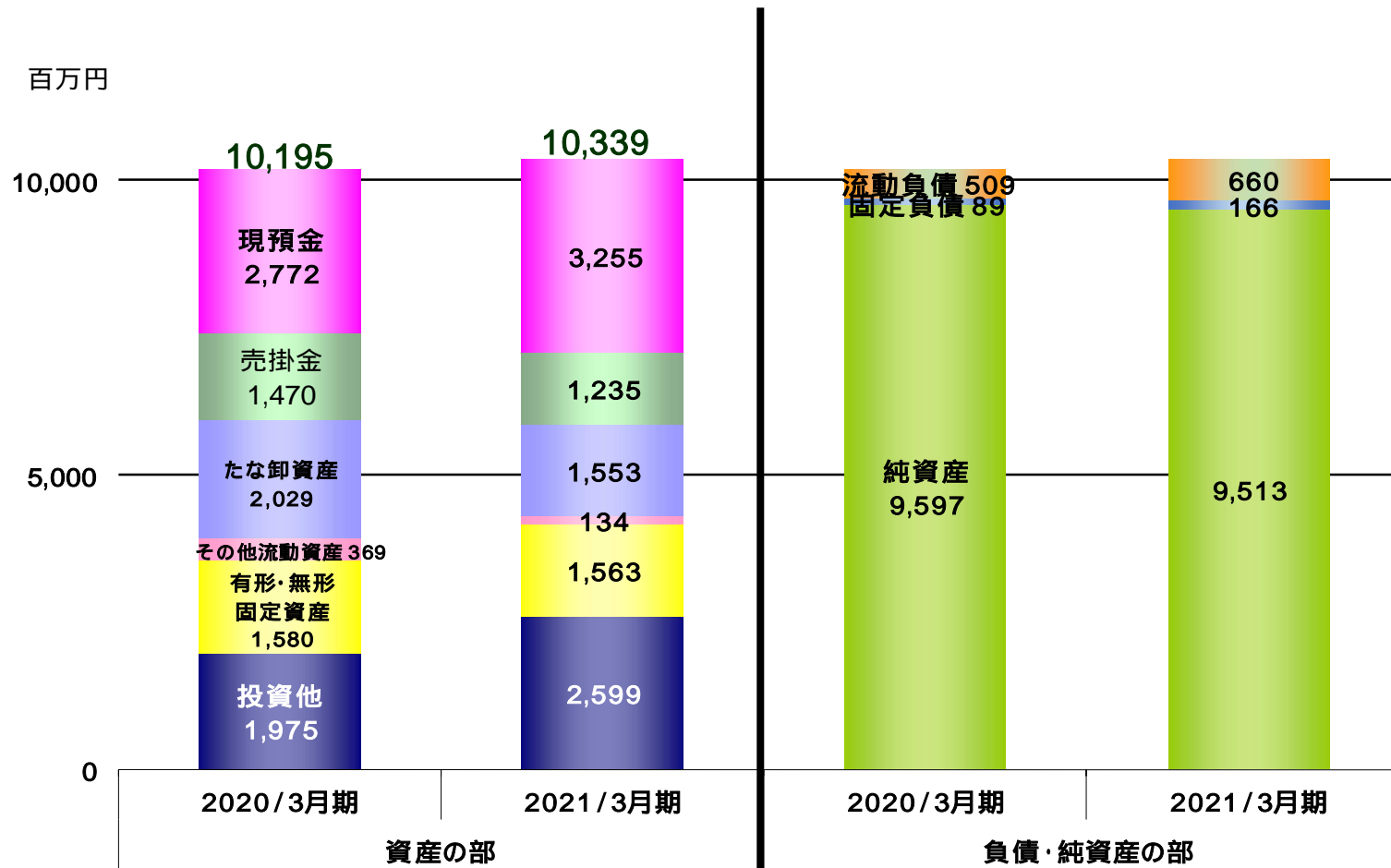
地域別売上は国内テストが減少し、海外比率75%

- ・テストは中国市場で11件の新規受注を獲得し、海外比率が5割に上昇。
- ・ハンドラは概ね9割が海外向け。



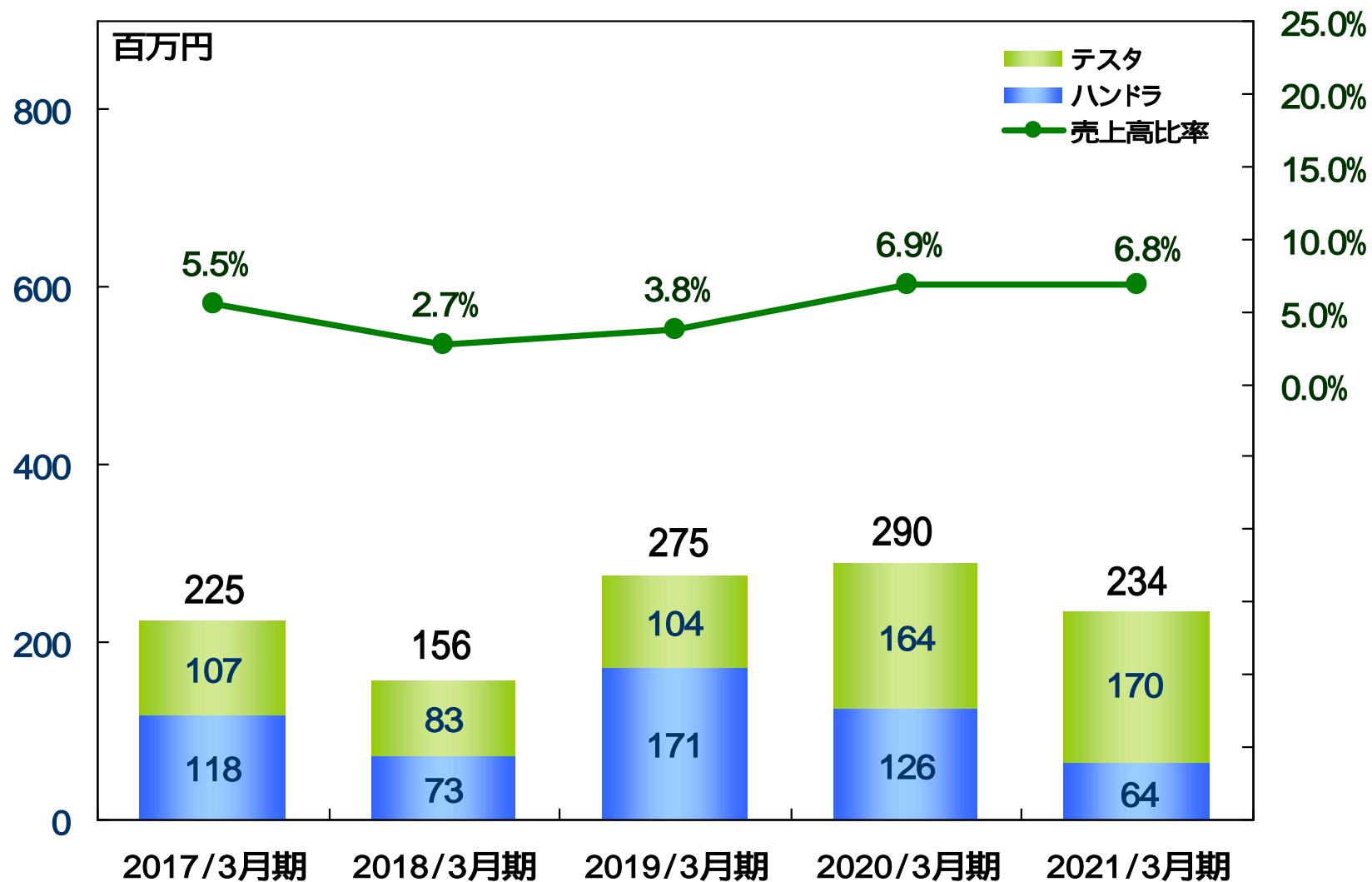
手元流動性高く、コロナ禍でも安定経営と成長投資へ

- ・売掛金の回収が進み、現預金が増加。
- ・純資産は95億円で自己資本比率92%。



収益力の維持・強化に向けた開発投資を継続

- ・パワーデバイス用新型テストの2022年3月期の市場投入を見込む。
- ・MEMSハンドラ、環境試験対応ハンドラのラインナップ充実を図る。



経営戦略(全体方針)

- ・2020年3月期に創業50周年を迎え、100年企業へ新たな飛躍を目指す。
- ・想定外のコロナ禍が発生したが、持続的成長に向けた施策を推進する。

収益力
の強化



成長を支える
インフラ構築

– テスタ分野の拡大

– ハンドラ分野の安定化

経営戦略(テスト分野)

- ・パワーデバイス用テストのポートフォリオを高め、事業規模を拡大する。
- ・成長が見込まれる中国、欧州市場や周辺製品市場への進出を図る。

海外顧客比率
5割以上

IPD/IPM
市場進出

中期目標として売上30億

人員
増強

モデル
集約

外注
促進

M & A

経営戦略(ハンドラ分野)

- ・大口顧客を維持しつつ、第2、第3の柱となる戦略顧客との取引を加速する。
- ・MEMS、環境試験関連のラインナップを充実させながら、技術力を強化する。

顧客基盤の拡大

大口顧客維持

戦略顧客へ拡販

環境試験製品

MEMS

技術力の強化
品質・納期・利益の安定化

経営戦略(機能別)

- ・ 事業活動を支える社内インフラについても前向きな投資を実行する。
- ・ ITによる生産性向上、人材が有効に活用される体制の構築を進める。

販売戦略

選択的受注
現法/代理店との連携

人財戦略

計画的な採用と育成
人事制度の最適化

設備戦略

ITによるオペレーション改革
老朽化への対応

事業環境の継続を前提に、大幅な業績改善を予想

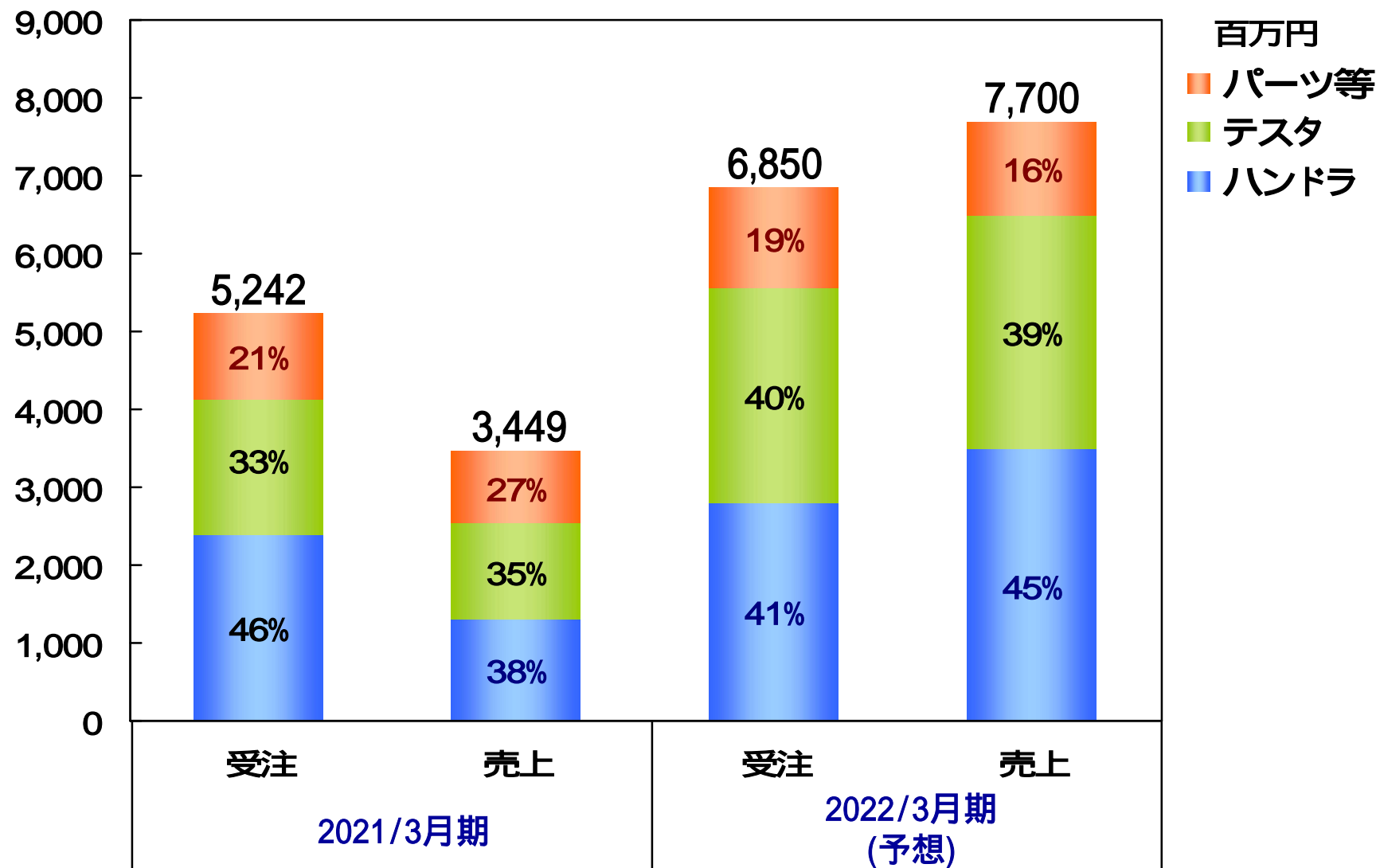
- ・納期対応、生産能力確保により、売上は当期比2.2倍の77億円へ。
- ・営業利益は15億円(3期ぶりの黒字転換)へ。

	2021年3月期 当期実績		2022年3月期 予想		対前期 増減	
		百分比		百分比	増減額	増減率
売上高	3,449	100.0%	7,700	100.0%	+4,250	+123.2%
ハンドラ	1,317	38.2%	3,500	45.4%	+2,182	+165.7%
テスタ	1,220	35.4%	3,000	39.0%	+1,779	+145.8%
パーツ等	912	26.4%	1,200	15.6%	+287	+31.6%
売上原価	2,607	75.6%	4,500	58.4%	+1,892	+72.6%
販管費	1,290	37.4%	1,700	22.1%	+409	+31.7%
研究開発費	234	6.8%	360	4.7%	+125	+53.7%
営業利益	-448	-13.0%	1,500	19.5%	+1,948	—
経常利益	-308	-8.9%	1,540	20.0%	+1,848	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	-290	-8.4%	1,270	16.5%	+1,560	—
為替レート	104.35円 / USD		105.00円 / USD			

※2022年3月期 米ドル為替感応度(1円安となった場合の営業利益の増加額/年) : 約30百万円

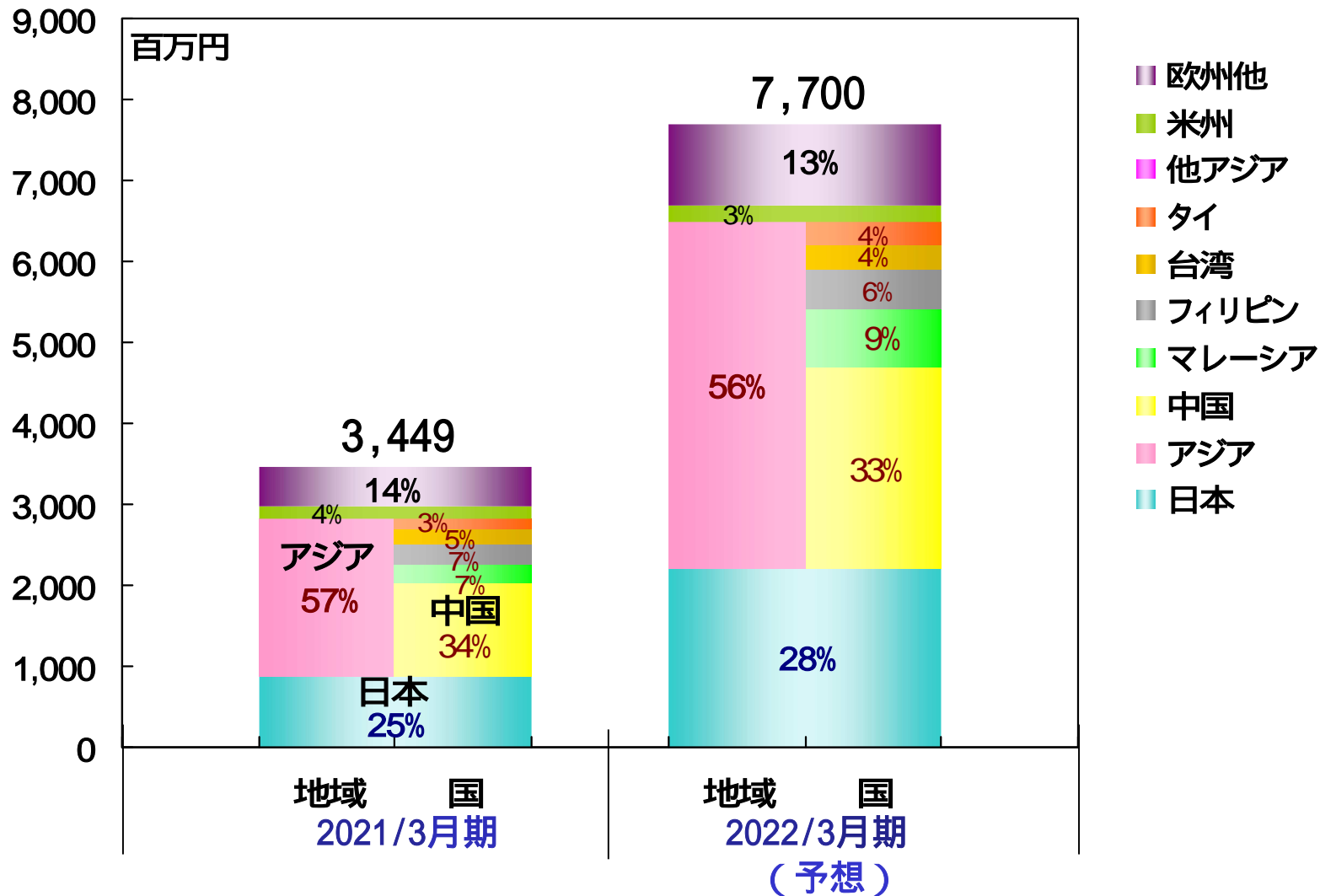
受注環境の継続を前提に、売上倍増を見込む

- ・ 期初受注残(28億円)は2018年2Q以来の高水準。
- ・ テスタは中期目標に掲げる売上30億円を見込む。



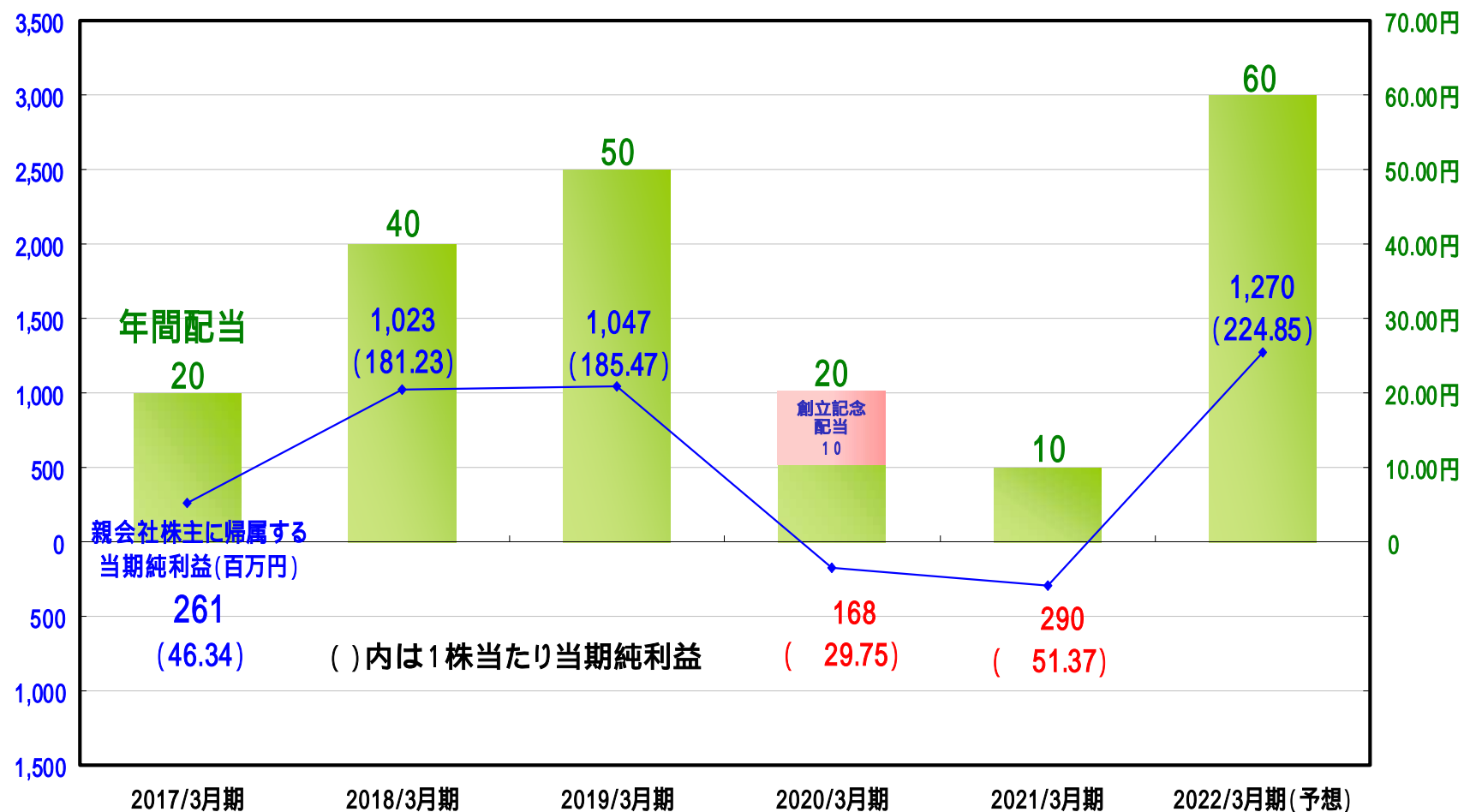
引き続き、中国をはじめとするアジアが主要市場に

- ・中国市場における商社の活用
- ・欧州市場における輸出規制への対応



安定配当方針の下、60円配当を予想

- ・業績予想、事業環境を踏まえ、期末配当60円を見込む(配当性向27%)。
- ・安定経営を重視しつつ、成長に向け開発、人材、インフラ投資等を見込む。



ご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。